

公民館だより

由良公民館

選挙を正しく明るく

宮津市議選が目前に迫った。私たちはこの四年間「よろば懇」を中心に選挙について話し合い活動を続けて来た。四十二年十一月には「みんなの選挙」昨年四月には「選挙と地方自治第一集」と題する小冊子を発行し、地方自治を中心に政治のしくみや選挙法を学び、何故明るく正しい選挙をしなければならぬかを考えて来た。公民館よりでみんなの声をつのり、不十分なから選挙に関する討論の場として来た。

選挙や政治が、私たちの生活に直接結びつく大切なものであることは重々識りながら、我々は、つい毎日の仕事に追われて無関心になり勝ちである。しかし、少くとも由良地区ではこの四年間、そうでなかつた。私は信じたい。

選挙戦を前にポスターを張ったり、チラシを配ることも必要だが、選挙の良否は結局、選挙民一人一人の一票に対する自覚の有無にかかっている。これまでのみんなの学習の積み重ねが何より大切だと思ふ。学習といつても固苦しい意味ではない。新聞やテレビで交通事故の話しを聞いても、自分でなく、よかつたこと喜ぶだけでなく、「何故こうもたくさん起こるのか、防ぐにはどうすればよいのか、自分に出来ることは何か」とみんながよりよい生活を求めて生きる努力をするからこそ真実の学習と信じたい。

先日の公民館だよりで「選挙と公民館活動」と題する投稿で、多くの質問や忠告を受けた。ここでいろいろお答えする余裕はないが、これまでの冊子をよく読んでもらえば、御理解願えらると思ふ。何より直接話し合いたい。部落推せんについて、それが一部の人でなく、部落民の自由かつ公正な総意の結果なら敢えて反対はしない。しかし、個人の自由を阻害するよう

うな部落推せんには反対である。由良地区の一人一人のしあわせに真実つながらるかどうかをよく見きわめて、判断すべきである。明るい郷土をきずくためには、来るべき選挙に各人が、自分でよく考え、他人の言動にまどわされず、自由に正しいと信ずる一票を投ずることこそ大切である。

選挙と

わたしたち

六年 森上陽子

わたしたちの生活には、いろいろな選挙がある。児童会役員選挙、市の選挙、府の選挙、でも、おとなの人は、違反をする。

なぜそんなことをするのでらう。そんなことをしなくても、日ごろのたい度ですぐわかるのだから。いつも、人にいじわるしたり、あきてしまうような人だつたら、いくら、たくさんポスターを書いても、だれも投票

してくれない。また、正及対の、やさしくて、人のことを思って、町の人から、すかれる人だつたら、少々のポスターでも、投票してくれると思ひます。

いつも人々のことを考えていてくれて、町を明るく、日本の国をいざいてくれる、人だつたら、何票でもいれてあげたい。

でも世の中には、そんなふうまうはいかない。いつも、やさしうで、気のいい人みたいでも、それは、外見だけ。心は、いつもきたなくて、ほんとの心を表わさない、うら表てのある人。でもそんなことは、だれも知らないから、投票する。

そんな人が、もしなつたら、自分の思いどおりにして、町は、おちやくちやになり、生活は、とても変わる。ねだんは、高くなる一方。町は暗くなり、いん気になり、人々は、その人のようになるかも知れない。

生活は苦しくなるだろう。でも、今は、町の人々を考え、日本の国をいざいて、りっぱな人がなつて

わたしたちも、選挙したい。人々のくらしを考えていて、町を明るく努力し、日本の平和を考えている人に、りっぱな人に。

◎おことわり
(この作文は、四十四年六月に書かれたものです)

前主事 新宮義男

青葉若葉の美しい時期となりました。皆様には御健勝にてお励みの事とおよろこび申し上げます。

公民館だよりが発行されるとき、貴重な紙面をおかりして辞任の御挨拶を申し上げます。

五年間大過なくつとめさせて頂きました。した事は皆様方のあたたかい御同情と御支援の賜ものとあつく感謝申し上げます。

任期中は、何かと、御無利なお願いを申し上げました事を深くおわび致します。何分にも公民館運動は難しいが地区の発展と地区民の方々の融和を図る上からも是非進めて行くべき運動であり、地区の皆さん方の絶対的な御協力を頂

主事 真下猪之助

連日の梅雨で、うつつうしい日が続いておりますが皆様には何かとお忙しい毎日をお過ごしのことと存じます。

私、今回公民館主事の職をお受けすることに成りまして、四月より務めさせて頂いております。

時勢の進展に伴い、公民館活動もまた如何に大率な仕事であるか、健全な活動を要請されるか、など未だに見ます時一だんと、その職務の重大さが感じられます。元より満足に務め上げ得るとは思つてもおりません、一つ一つ勉強しながら、一生懸命務めて参りたいと思つており

ますので皆様方には色々ご迷惑をおかけする事と存じますが、今後共格別のご指導を頂きますようお願い申し上げます。ご挨拶と致します。

過日発行されました「婦人の声」を楽しみながら、ユーマアの中で伸び伸びと子供の教育を致しませう。この頃のマンガは、なかなか、ばかになりません、結構楽しみながう人生勉強として効があります、私も時間のゆるす限りマンガで楽しんでおります。狂育ママさんには、ばからしいでしよが、読虎テレビで、毎日午後四時より「でっかい青春」を、見ております。この頃こんな先生があつたらなあー

と、残念でなりません。お家にいられる時一度見て下さい、先生と子供のつながり、よくよく考える点があると思います。時間のゆるす限り、子供の中心で、ユーマアのある家庭を作りましょう。小さな勇気なかな、むずかしいものです。何事もやれるの信念を持って、一つ一つを赤ましよう。美しい笑は家の中の太陽である、家庭でいつでも、じょうだんのとびだすような明るい家庭を作りましょう。

由良老友会の現状と感謝

会長 山下庄兵衛

年寄りになるといふのは、誰でもがひどく嫌がるもので一才でも若く見えようと努力したりする。考えて見れば、おかしな話ですが、世界の人はみんな一年に一つずつ年を取るの、年寄りになること

私の思う事

【後を心配する者】

時代の流れ、発展する文明、昔の面影はなく仕方がないが寂しい。だが人生、義理、人情、道徳あつてこそこの世は平和に過ごせるのではないでしようか。百冊の本より、はだかの人生勉強、どんな苦しみも切りぬけ誠実に生きて行く事がほんとの勉強ではないでしようか。

「孤独は老人の最大の悲劇である」といわれているが、当地区にもまだ老友会に入会して頂かない方が二五%程あるようである。数十年前六十五才以上の方々は、是非本会に入会していただき、老人同志をつないで共に修養し、共に楽しみ健康で意義ある人生を送りたいと念願するものである。今や全国に老人クラブが八万余、会員五百五十万人あり、有刀な団体となつてゐる。日本国民の平均寿命が、昭和十年には、男四十七才、女四十九才であつたものが、昭和四十四年には、男六十九才、女七十五才と年々のびてきて、全国の人口動態が変化しつゝあるに、人がみ政府も、老人福祉対策について真剣に赤之種々論議されていくようであるが、吾々老人も一致団結して、日常の行状を慎しむ、老いたりと雖も少しでも世のため人のために尽し、みんなに重宝がられ、みんなに愛される老人となりたいものである。

も進学の頭において、一にも二にも勉強勉強で、つぱはる現代、一年二年と浪人までして大学は、いり卒業すれば田舎はいやになり、せまくるしい都金都会と職を求めて、かるさとを捨ててしまふ現代。爪に火をとすようにして送金した親、なんのための苦勞か、自分の老いの身に苦を買つて出るようなものです。都会に出て家庭を持つたとして、ただ食べるだけ、親の喜ぶような仕送りはないと思ひます。親からの物品の仕送りを待つような有様です。若いおおかめ様、同じ一生なら親

は寧ろ誇りとし、今日まで長命した事を感謝すべきであると思ふ。昭和三十八年七月十一日法律第一三五号を以て「老人福祉法」が制定され、「老人は多年にわたり社会の進展に寄与して来た者として敬愛され、かつ健全で安らかな生活を保障されるものとする」と定められてゐる。これに基づいて、七年前、由良老友会が結成され今日に至つてゐる。

由良老友は現任会員一三〇名あり、会の活動を通じて教養を身に付け社会性を養ひ、現代感覚を体得して新しい時代に生きる方法を学び、若い人達と親しく話し合い、充実した毎日を送りたいものだと種々努力してゐる次第である。幸いにも創立以来地区内自治会長を始め、各種団体の各位より一方ならぬご指導ご援助を頂いて、一つの団体が、各方面から特別のご後援を受け得たことは、先例のない事で、「老人の会なるが故に」斯の如きご庇護を受け得たものと会員一同常に感謝してゐる次第である。

子そつと楽しい家庭を持つよう赤えるべきではないでしようか。長男は通勤出来る処に職を求め由良のため、がんばつてもらひましょう。そのため時代の流れにおくれないよう若い人をよく理解し、若い人の娯楽設備を赤え、楽しい住みよい由良に致しませう。若い時の苦勞は買つてもせよと言ひますが、老いては孫にかこま札、よい、じいちゃんばあちゃん、で余生を終りたいと願つております。皆様、目の前だけを赤えず将来の事も赤え子供の教育致しませう。若い者に出られ老人ばかりの生活、ほんとはじめで心細いものです。子供の教育教育とやかましく申しますが、この頃では大人の教育が必要だと思ひます。泣くも笑うも一生ならば笑つて過ごそうわが一生……

守りまじょう

みなんで

時間厳守。仏事簡素化。見舞返し。申し合わせ事項を。 廃止

第二号、十一月発行予定「皆さん」お声、どしどしお寄せ下さい

【各地】各種団体親善ネット本大会は六月十日(日)多教参加あり小雨決行盛會裡に終了。優勝 由良青年会